

＝駅伝シーズンに幕＝

日置町陸上部大活躍

3大駅伝で快走

惜しくもV2ならず

●第二十九回長門・大津駅伝大会
二月二十七日、快晴のもと長門大津駅伝大会が三隅町宗頭文化センターから油谷町県立青年の家まで六区間、三十二キロのコースに一般四チーム、高校五チームが参加して開催された。

昨年この大会で念願の優勝をなした日置町チームは、ただひたすらV2を目標におき、大会のぞんだわけであるが、レースは、日置と長門の激しい争いで幕あけした。

一区エースの高見は、スタートと同時に長門と激しいつばぜりあいを繰り返す、一時はリードした

かに思えたが最後に長門のすばらしいラストスパートにあい、おし



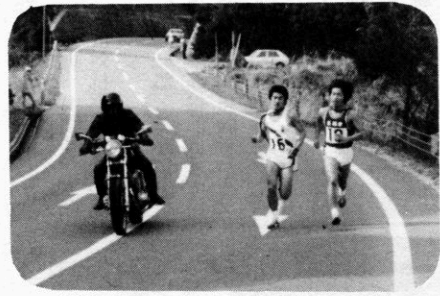
最後の力をふりしぼって(木村選手・長門大津)

北浦駅伝の壮行式から



日置町陸上部駅伝大会成績表

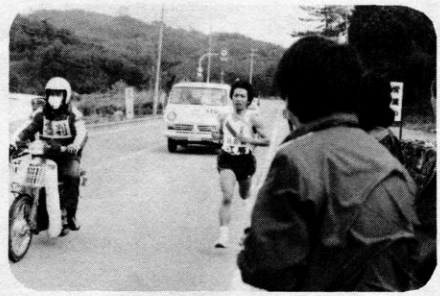
大会名	コース	チーム数	選手名	成績
第29回長門・大津駅伝大会 (2月27日)	三隅町宗頭文化センター～油谷青年の家(32km)	4	高見(雨乞)一上田育(畑下)一川野(北山)一江原(北山)一上田拓(野田南)一木村(茅刈)	2位
第31回萩市駅伝大会 (2月7日)	萩市民体育館～大井手前折返し(25,0 km)	13	上田育(畑下)一川野(北山)一木村(茅刈)一中本(長行)一上田拓(野田南)一高見(雨乞)	2位
第30回北浦駅伝大会 (2月11日)	阿川小～豊北町一周(35,25 km)	23	上田育(畑下)一江原(北山)一平山(黄波戸)一川野(北山)一西(古市)一高見(雨乞)	4位



強豪相手に(上田育選手左・北浦)

ら最後まで気力をふりしぼりながらがんばりぬき、三区の川野へバトンタッチ。昨年は不振になか

くも二十秒差で二区へ。この大会最長距離の二区を受けもった若きスピードランナー上田育生は、前を行く長門百合野をハイピッチで追激し、中間点ではわずか十秒差まで追いあげたが、前半の無理がたたわりペースダウン。しかしなが



快走(江原選手・長門大津)

れた川野だったが、今年には練習量増でカムバック、前半から軽快にとばし長門をわずかの差まで追いつけたが、長門西野のベテランらしい走りに屈し中継所とほぼ同じ差でタスキは四区江原に渡った。只ノ浜から環境改善センターまでというこの起伏の激しい区間をまかされた江原は、前半から驚異的なハイペースでとばし椎ノ木峠付近では逆転するかに見えたが、長門も最後のふんばりを見せおしくも逆転ならず。しかしながら、中継所では一分以上もあった差をわ



前をつかまえろ(高見選手・北浦)

ずか七秒差まで追いあげた快走はすばらしいものがあった。その後、五区六区での逆転が望まれたが、長門の激しいにげ切りにあい約一分差で二位でゴールへ。しかしながら、V2は夢と終わったが最後の最後までレースをすてずがんばりぬいた選手達の姿にはすばらしいものがあつた。これに屈することなく、来年こそはV奪還をぜひ達成してもらいたい。